

す。マウスの手術もあまりにも人と比べて小さいため戸惑いもありましたが、いまでは毎日楽しく手術をしております。Boss の Yehoash 先生は日本に留学経験もあり、すごく親日的な方で非常に日本（日本人）を愛しておられ、本当に良くしていただいております。毎日笑顔で声をかけていただき、どこで覚えたのかわからない日本語のジョークをよくプレゼントしてくれる陽気な性格で、また仕事に関しては常に前向きで知的で、毎日のように研究内容に関して色々なアドバイスを提供して下さいます。私生活の面でも Yehoash 先生の自宅で寿司 party によくご招待いただきます（なぜか日本でもやったことのない握りを毎回握らされ非常に低レベルな寿司をアメリカ人に提供しているのですが）。それも含めておかげさまでアメリカに来て一度も homesick にもかかることもなく高いモチベーションを持って仕事にも専念しながら楽しんでここまでやってこることが出来ました。

留学のきっかけとなったのは友田教授をはじめとした医局の留学経験のある多くの先生方が強く勧めて下さったのと、30 年前に偶然にも同じ Kresge Hearing Research Institute に留学していた父の影響もあって今回留学を決定いたしました。当時、まだ私は 0-3 歳だったのでミシガンに住んでいたこと自体も記憶がなく、もちろん英語に関しても全く記憶にないため、語学に対する不安が一番強かったのですが、同じ条件で留学を乗り越えた父の存在があったからこそ最終的に留学を決断することができました。

最後になりましたが、本留学でよい経験ができていたのも自分の力ではなく、杉田 SPIO 奨学金・関西医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座・Yehoash Labo、そして家族のおかげだとこの場を借りて改めて感謝を申し上げます。

## 平成 25 年度 SPIO Award

SPIO Award は、毎年 Auris Nasus Larynx (ANL) に掲載された原著論文の中より、優秀原著論文 1 篇に対し、その著者に賞状と賞金 (5,000 ドル) を贈呈しています。ただし、筆頭者は 45 歳以下。また、受賞者には日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会において講演の場が与えられます。

平成 25 年度 SPIO Award は、18 篇の中から対象となる 3 篇を審査した結果、**奈良県立医科大学 西村忠己氏**が選ばれました。

**Tadashi Nishimura: Benefit of a new hearing device utilizing cartilage conduction, Auris Nasus Larynx Vol.40, No.5, 440-446, 2013**

平成 26 年度におきましても多くの優れた論文が日本国内だけでなく海外からも ANL 誌に寄せられることを期待しています。詳細はホームページ参照 <http://www.spio.or.jp>

## 賛助員の募集について

SPIO では、毎年一口 2 万円以上ご寄附下さる賛助員を募集しております。なお、納入いただいた賛助費に対しては免税措置が得られます。加入につきましては事務局までお問い合わせください。賛助員加入申込書をお送りします。または申込書をホームページからダウンロードしてご使用ください。

<http://www.spio.or.jp>

## 税制上の優遇措置について

「公益財団法人」はすべてが寄附優遇の対象となる「特定公益増進法人」に該当するため、当財団への個人の寄附及び法人の寄附は従来どおりの「税優遇措置」の対象となります。

## 賛助費納入のお礼

平成 25 年度も多くの賛助費を納入頂き、皆様のご理解とご支援に感謝いたします。今後とも引き続きご協力をお願い申し上げます。(319 件 724 万円)

平成 25 年度賛助費納入状況

賛助員	賛助費納入件数	金額 (単位千円)
地方部会	43	980
医育機関	65	1,460
教授	90	1,820
准教授	13	260
個人	97	2,280
企業・他	11	440
合計	319	7,240